

五十九蘇齋の詩をよむ

疵病と云字とた字にゆけの平也の書
其上に佛と云字と右字に書て蘇うら乞
せし歟

かゝる國乃それしとあるなり我あま

系平れしとあるなりいりせし

六十水とあるなり

とあるなりきふなりこれに人考

耳草ありて言てくらへしとあるなりおつ
りたきて蘇うら乞と蘇うら乞と蘇うら乞と